

≪連携協力の概要≫

- 関係自治体・団体等による推進体制の整備
- 国立公園・国定公園の魅力向上、只見柳津県立自然公園の国定公園編入、広域周遊の仕組みづくり等の取組の推進
- 猪苗代湖の環境保全、野生鳥獣の保護管理等、県内の環境保全の取組の推進

≪令和5年度の主な取組状況≫

- 尾瀬沼ビジターセンター周辺施設の再整備工事
- 国立公園満喫プロジェクトの実施
 - ・ 磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会を1回、4つの部会を計4回開催。
 - ・ 地域プロモーション活動やガイド研修会の実施
 - ・ 登山道保全ランク策定、モデル事業（植生復元、管理体制構築）実施
- 猪苗代湖における水生植物の効率的な回収方法の検討（湖沼水環境適正化対策モデル事業）及び水質予測モデルや植生浄化に関する共同研究
- 帰還困難区域におけるイノシシ等の捕獲（計909頭を捕獲）

●尾瀬国立公園の魅力向上

尾瀬沼ビジターセンター周辺施設の再整備工事の実施（公衆トイレ、VC付帯施設）



●広域周遊の仕組みづくり

国立・国定公園内でのデジタルスタンプラリーやアクティビティイベント、会津トレイルツアーの開催



令和6年度の主な取組予定

- ふくしまグリーン復興プロモーション、国定公園奥会津ビジターセンターオープン、公園の利用促進のためのイベント等の実施
- 磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会・部会の開催、裏磐梯ビジターセンターリニューアル工事
- ふくしまグリーン復興推進協議会総会や各ワーキンググループ等を開催し、情報共有及び連携強化
- 猪苗代湖における水生植物の更なる効率的な回収方法等の検討（湖沼水環境適正化対策モデル事業）及び猪苗代湖の魅力発信
- 帰還困難区域を含む野生鳥獣対策の継続実施 等

今後の方向性

- ふくしまグリーン復興推進協議会等を活用し、自治体、民間事業者など地域の関係者との連携強化を進め、同構想を推進
- 国立公園満喫プロジェクトにおける効果的な魅力向上策等の検討

「連携協力の概要」

- 県内における省エネルギー対策や再生可能エネルギーの一層の普及促進
- 福島県産水素の利活用
- 上記の取組を通じた未来志向のまちづくりなど地球温暖化対策に実効ある取組の推進

「令和5年度の主な取組状況」

- 「復興×脱炭素まちづくり」に係るFS事業を3件実施
- 自家消費型再エネの導入可能性調査事業に対する補助を1件実施（喜多方市）
- 自家消費型再エネの導入に係る計画策定事業に対する補助を1件、設備導入事業に対する補助を10件実施
- 重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）の実施
- 水素ステーション整備拡大事業の実施
- 低コスト再エネ水素サプライチェーン構築・実証を継続実施
- 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームにおいて、民間主体の個別ワーキンググループを8つ設立
- ふくしまカーボンニュートラル実現会議の設立
- 地域気候変動適応センターの設置

●設備導入補助の例

地 域：檜葉町
事業概要：Jヴィレッジにおける自家消費型の太陽光発電設備の導入



●脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム

令和6年3月18日に双葉町交流センターで総会を開催。小高ワーカーズベースの和田様の基調講演のほか、自治体の動向や個別WGの進捗状況等を報告



令和6年度の主な取組予定

- FS事業の過年度採択案件のフォローアップを実施
- 自家消費型再エネの導入可能性調査事業、計画策定事業、設備導入事業に対する補助の継続実施
- 水素ステーション整備拡大事業の継続実施
- 低コスト再エネ水素サプライチェーン構築・実証の継続実施
- 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームからの新たな事業の創出
- 県内自治体等への技術的支援の実施
- カーボンニュートラル実現会議を中心とした県内脱炭素の取組推進 等

今後の方向性

- 「脱炭素×復興まちづくり」プラットフォームの場や設備導入への支援、FS調査や実証事業などを有効に活用しながら、再生可能エネルギーの導入促進や水素社会の実現、省エネルギー推進などによる、脱炭素先進モデルケースの形成を一層推進

≪連携協力の概要≫

自立・分散・ネットワーク型の社会の形成を視野に入れ、幅広い分野の環境施策において、多様な主体との連携を強化し、レジリエント（強靱）な社会のモデルとなる取組を推進

- ・ 国立公園等におけるワーケーションの促進
- ・ 復興に貢献する再生可能エネルギーの地産地消等の推進
- ・ 廃棄物の発生抑制や循環的な利用に関する取組、災害にも強い資源循環スキームの整備促進

≪令和5年度の主な取組状況≫

- 国立・国定公園でのワーケーションに関する情報発信
- 環境省施設での福島県産再エネ電力の調達
- 廃棄物削減モデル事業（燃えるごみ組成分析調査）の実施
- ごみ減量アイデア動画コンテストの実施
- プラ3R実践コンテストの実施

●ワーケーション事業の促進

環境保全活動（外来種駆除等）を組み合わせたワーケーションの情報発信



オオハンゴンソウ(外来種)

●ごみ減量・リサイクルの推進

市町村のごみ排出の実態と課題を明らかにする調査。
県民発のアイデアの周知。



アイデア動画コンテスト
最優秀賞作品

令和6年度の主な取組予定

- 国立・国定公園におけるワーケーションの推進
- 福島県産再エネ電力利活用拡大事業の実施
- 環境省施設での福島県産再エネ調達の継続実施
- 廃棄物削減モデル事業（生ごみ対策）の実施
- ごみ減量アイデア等の広報 等

今後の方向性

- 国立・国定公園におけるワーケーションの普及促進に取り組む
- 多様な主体による再エネの導入・利用促進など、自立・分散・ネットワーク型の社会の形成に向けた具体的な施策を幅広い分野で推進

≪連携協力の概要≫

- 広く県民や企業、市町村等の積極的な参画を促すため、シンポジウム等の開催や優良な取組の推奨制度の創設など多くの主体の参加を促進・誘導するための取組を行う
- 福島の復興の姿を広く県内外に発信するなど、浜通り地域をはじめ福島県の風評払拭に努める

≪令和5年度の主な取組状況≫

- シンポジウムを1回開催
 - ・ 3/10 「福島、その先の環境へ。」シンポジウム
- 「ふくしまゼロカーボンDAY! 2023」(メインイベント1回、地方イベント4回)の開催
- 学生向けのチャレンジ・アワードを実施
- 環境リブランディング「FUKUSHIMA NEXT」広告・キャンペーンの実施
- COP28ジャパン・パビリオンにおける福島県の復興に関する情報発信

●「福島、その先の環境へ。」シンポジウム

福島の復興・再生の取組を振り返るとともに、県内外の方々と福島未来について共に考えるシンポジウムを開催。



●COP28ジャパン・パビリオンでの福島に関する展示

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興や環境再生の取組について世界に発信し、福島に対する風評払拭を図ることを目的に、国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)にてブース展示を実施。



令和6年度の主な取組予定

- シンポジウム(3月予定)等を開催予定
- 県内自治体と連携した環境イベントの開催
- チャレンジ・アワードを継続して実施
- 「FUKUSHIMA NEXT」の広告の実施
- 福島復興に関する海外向け情報発信 等

今後の方向性

- 福島の風評払拭につなげる、環境先進地域へのリブランディングを推進
- 震災・原発事故や環境再生の記憶を福島子どもたちへと継承する取組を推進
- シンポジウム等の情報発信を通じて、多くの主体の参画を促進